



統計スポット情報

No. 23

11. 2. 26 福井県総務部情報政策課

平成9年全国物価統計調査 消費者物価地域差指数

福井県 総合 99.8 (全国15位)

今回は、「平成9年全国物価統計調査 消費者物価地域差指数（総務庁統計局）」から都道府県別の物価水準を紹介します。

1. 総合指数

都道府県別の物価水準（全国＝100）をみると、総合指数では、東京都が112.5と最も高く、次いで神奈川県（108.3）、京都府（104.1）、大阪府（103.5）の順となっています。

一方、最も低いのは沖縄県（94.1）で、次いで群馬県（95.3）、愛媛県（95.4）、宮崎県（95.5）となっており、最も高い東京都と最も低い沖縄県の格差は18.4ポイントとなっています。

本県は99.8で47都道府県中15位となっています。

また、北陸では、石川県が102.4で5位、富山県が100.7で8位といずれも本県より高くなっています。

（表1）都道府県別総合指数

順位	都道府県名	指数	順位	都道府県名	指数
1	東京都	112.5	24	長野県	98.2
2	神奈川県	108.3	26	滋賀県	97.9
3	京都府	104.1	27	島根県	97.8
4	大阪府	103.5	27	岡山県	97.8
5	石川県	102.4	29	新潟県	97.7
6	兵庫県	101.9	29	香川県	97.7
7	千葉県	101.6	31	三重県	97.5
8	富山県	100.7	32	秋田県	97.4
9	宮城県	100.5	32	熊本県	97.4
10	静岡県	100.3	34	佐賀県	97.2
10	奈良県	100.3	35	鹿児島県	97.1
12	埼玉県	100.0	36	栃木県	97.0
12	愛知県	100.0	36	大分県	97.0
12	和歌山県	100.0	38	茨城県	96.9
15	福井県	99.8	39	岩手県	96.6
16	山梨県	99.7	39	徳島県	96.6
16	広島県	99.7	41	青森県	96.5
18	北海道	99.4	41	岐阜県	96.5
18	高知県	99.4	43	山口県	96.4
20	福島県	98.9	44	宮崎県	95.5
21	福岡県	98.8	45	愛媛県	95.4
22	長崎県	98.6	46	群馬県	95.3
23	鳥取県	98.3	47	沖縄県	94.1
24	山形県	98.2			

2. 費目別指数

費目ごとに都道府県別の格差をみると、「住居」が84.7ポイントと最も大きく、最も高い東京都（153.6）は最も低い宮崎県の約2.2倍となっています。

また、住居以外では「教育」（53.7ポイント）、「家具・家事用品」（32.7ポイント）「被服及び履物」（30.0ポイント）などの格差が大きくなっています。

一方、格差が最も小さいのは「保健医療」の5.7ポイントで、次いで、「食料」（13.0ポイント）、「交通・通信」（16.3ポイント）となっています。

本県の状況をみると食料（103.7：5位）家具・家事用品（115.3：5位）、交通・通信（104.5：6位）で全国順位が高くなっています。

（表2）都道府県別にみた費目別指数の格差

費目	最も高い都道府県	最も低い都道府県	格差	福井県	全国順位
総合	東京都	沖縄県	18.4	99.8	15
食料	東京都	大分県	13	103.7	5
住居	東京都	宮崎県	84.7	82.1	31
光熱・水道	佐賀県	徳島県	20.3	96.4	44
家具・家事用品	大分県	沖縄県	32.7	115.3	5
被服及び履物	東京都	沖縄県	30	102.2	19
保健医療	長崎県	徳島県	5.7	100.3	27
交通・通信	東京都	栃木県	16.3	104.5	6
教育	神奈川県	島根県	53.7	79.2	43
教養娯楽	東京都	鹿児島県	22.5	97.6	23
諸雑費	東京都	沖縄県	28.5	101.4	18

格差＝最も高い都道府県の指数－最も低い都道府県の指数